



2020年5月12日

各位

会社名 株式会社 J T O W E R
 代表者名 代表取締役社長 田中 敦史
 (コード番号: 4485 東証マザーズ)

問合わせ先 常務取締役 CFO 中村 亮介
 経営管理本部長
 (TEL. 03 - 6447 - 2614)

2020年3月期通期業績予想と実績値との差異及び 営業外費用の計上に関するお知らせ

2020年2月5日に公表した2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値との差異及び営業外費用(持分法による投資損失)の計上につきまして、下記の通りお知らせします。

記

1. 2020年3月期通期業績予想と実績値との差異(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上高	(参考) EBITDA*1	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損失	1株当たり 当期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想 (A)	2,439	600	△65	△138	△169	△12.06
実績値 (B)	2,558	737	69	5	△13	△0.94
増減額 (B-A)	119	137	134	143	155	-
増減率 (%)	4.9	22.9	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,377	168	△169	△166	△214	△29.92

*1: EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+長期前払費用償却額

2. 差異の理由

2020年2月5日に通期業績予想を上方修正いたしました。第4四半期において、国内IBS事業が好調に推移したことに加えて、タワー事業にかかる先行投資費用(人材採用費等)が抑えられたことにより、売上高、EBITDA、営業利益、経常利益について、前回公表予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純損失については、上記の理由に加えて、弊社単体において繰延税金資産を新たに計上することとなり、法人税等調整額が増加したため、前回公表予想より改善しました。

3. 営業外費用(持分法による投資損失)の計上について

当社の持分法適用関連会社であるGNI Myanmar Co., Ltd.(本社:ミャンマー)に関する持分法による

投資損失 26 百万円を営業外費用に計上いたしました。

上記、持分法による投資損失については、本日公表しました「2020 年 3 月期 決算短信」に反映しております。

以 上